

スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ)が いませんか?



成貝(約7cm)

これがスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)



法面に産み付けられた卵塊



イネに産み付けられた卵塊

どんな被害がある?

田植え直後のイネを食いちぎったり、水面に浮かぶ葉を引き込むように食害します。被害が多ければ欠株になり、収量に影響することもあります。被害は田植え後約20日間のイネがやわらかい時期に限定されます。1cm以下の幼貝はイネの茎を食害できません。

乾田直播栽培では、イネが硬くなったのちに入水するので、被害は問題になりません。



イネを食べるジャンボタニシ



被害にあった生育初期のイネ



被害にあった水田

スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)から イネを守ろう

水稻生育期に取り組むジャンボタニシ対策

●用水路から侵入させない

水田の取水口と排水口に金網(2cm以下の細かい目)を設置し、金網の外側にはゴミが詰まらないよう、目の粗い網を設置します。



取水口に設置した金網

●田植え後20日間は浅水管理する

水深が4cmを超えると被害が生じやすくなります。

●田んぼ内と周辺のジャンボタニシを減らす

水田内、用水路などのジャンボタニシの捕殺に努め、卵塊は早めに水面下へ払い落とし、卵がふ化できないようにします。

●農薬で防除する

- ・スクミノン 1～4 kg/10a・収穫60日前まで・2回以内
- ・ジャンボたにくん 1～2kg/10a・収穫60日前まで・2回以内
- ・キタジンP粒剤 3～5 kg/10a・本田初期・2回以内
- ・ルーバン粒剤 4 kg/10a・収穫14日前まで・4回以内
- ・スクミハンター 1～2kg/10a・収穫45日前まで・3回以内
- ・スクミンベイト3 2～4kg/10a・発生時・ー

(注) 主な登録農薬を示した。ただし、「スクミノン」と「ジャンボたにくん」は併用しない。

●散布後、7日間は落水、かけ流しはしないようにしましょう。

●農薬のラベルに記載された使用方法、使用上の注意事項を守って使用しましょう。＊特に魚毒性等については、十分注意してください。

冬期に取り組むジャンボタニシ対策

●越冬するジャンボタニシを減らす

冬期(1～2月)に水田を数回耕起し、寒さにさらすことで水田内で越冬する成貝を減らします。

**用水路などのジャンボタニシは
地域ぐるみで退治(捕殺)しよう**

(一部のみの捕殺ではなかなか効果があがりません)